



図書館だより 1月



ワシントン日本語学校図書館 (tosh@wjs.org) 令和4年 1月号
開館時間 9時～4時30分



あけましておめでとうございます

新しい1年がはじまりました。みなさんは冬休みをどのように過ごしましたか。「一年の計は元旦にあり」といいますが、今年どんな計画、目標をたてましたか？今年もたくさんの本と出会い、発見したり、感動したり考えたりと心ゆたかに過ごしたいですね。

2022年の干支は「寅（とら）」です。日本の十二支は「子（ねずみ）・丑（うし）・寅（とら）・卯（うさぎ）・辰（りゅう）・巳（へび）・午（うま）・未（ひつじ）・申（さる）・酉（とり）・戌（いのしし）・亥（いのしし）」ですが、ほかの国では「猫」や「豚」などがう動物になっているところもあります。図書館にある「十二支のはじまり」には、干支のはじまりや順番、なぜ猫が入っていないのかも書かれています。ぜひ読んでみてください。

今月の事前予約日程と貸出のご案内

1月 8日 臨時休校のため貸出・返却ともになし
1月15日 1月8日貸出予定の図書の貸出。冬休み図書返却日
1月22日 1月15日貸出予定（予約済み）の図書の貸出。
1月29日 予約期間 1月 19日 9:00AM ～ 21日 9:00PM

「漫画」
「かいけつゾロリ」
「サバイバル・発明/実験対決」
については、1人2冊まで
貸し出しできます。



リンクやマニュアル等詳しい情報は、事務局からのメールをご確認ください。

12月人気ランキング

児童書シリーズ

- 1 かいけつゾロリ / 原ゆたか
おしりたんてい / トロル
- 2 10歳までに読みたい世界名作 / 学研
10歳までに読みたい日本名作 / 学研
- 3 おばけずかん / 斉藤洋
ふしぎ駄菓子屋銭天堂 / 廣嶋玲子

作家

- 1 東野圭吾・湊かなえ
- 2 伊坂幸太郎
- 3 有川浩・住野よる

絵本シリーズ

- 1 「ノラネコぐんだん」シリーズ
- 2 「いちにち」シリーズ
- 3 「ルラルさん」シリーズ

12月の貸出状況

貸出利用者

生徒 264人
貸出冊数 843冊

冬休み前に
借りた本は
15日にすべて
忘れずに返却して
ください。

読んでから
観る？



2022年映像化される本



観てから
読む？

今月の
特集



「おばけずかんシリーズ」 斉藤洋

怖いけどおもしろい「図鑑」という名の童話「おばけずかん」。「ひょうほんがいこつ」「トイレのはなこさん」などなど、毎日通っている学校にもこわ〜いおばけはいっぱいいるけど、このお話を読めば、だいじょうぶ！



「エルマーの冒険」 ルース・スタイルス・ガネット

年取ったのらねこからどうぶつ島に囚われているりゅうの子どもの話を聞いたエルマーは、りゅうの子どもを助ける冒険の旅に出発します。どうぶつ島ではライオン、トラ、サイなど恐ろしい動物たちが待ちうけていました。エルマーは知恵と勇気を出発前にリュックにつめた輪ゴムやチューインガム、歯ブラシをつかって、次々と動物たちをやりこめていきます。エルマーはりゅうの子どもを助け出すことができるのでしょうか？



「バスカビル家の犬」 コナン・ドイル
イングランド西部、デボン州ダートムア地方。岩山が点々とちらばり、おそろしい底なし沼のある荒地とそこにぽつんとたつバスカビル館。館では夜になると女のすすり泣く声がきこえ、外では犬の遠吠えがする…。何がおきてもふしぎではないと思える不気味な気配に、ワトソンは身ぶるいする。死を予言する警告文の送り主はだれなのか？ 呪いの魔犬は本当にいるのか？



「怪盗クイーンはサーカスがお好き」 はやみねかおる

怪盗クイーンに不可能はない！飛行船で世界じゅうを飛びまわりねらった獲物はかならず盗む。怪盗クイーンに不可能はない。ところがそんな彼に挑戦する謎のサーカス団があらわれ、クイーンが盗むつもりだった宝石を横取りした。そして、魔術師や催眠術師など特殊能力をもつ団員たちがクイーンに勝負をいどんできた。彼らの目的はいったい何？



「ハケンアニメ！」 辻村深月

「どうして、アニメ業界に入ったんですか？」時間に追われる過酷な現場で、目の前の仕事に打ち込む仕事人たちが、追い求めるものはいったい何なのか？ 監督・プロデューサー・声優・アニメーターたちが登場。辻村深月が紡ぎ出す最高に刺激のお仕事小説。



「ざんねんな生きもの事典」 今泉忠明

地球には、すごい能力をもつ生き物がたくさんいます。でも一方で、「紫外線をあびると光る」サソリや、「敵におそわれると死んだふりをする」オボッサムなど、思わず「どうしてそうなった!？」とつっこみたくなる“ざんねん”な生き物も存在するのです。この本では、進化の結果、なぜちょっとざんねんな感じになってしまった生き物たちをご紹介します。



「沈黙のパレード」 東野圭吾

静岡のゴミ屋敷の焼け跡から、3年前に東京で失踪した若い女性の遺体が見つかった。逮捕されたのは、23年前の少女殺害事件で草薙が逮捕し、無罪となった男。だが今回も証拠不十分で釈放されてしまう。町のパレード当日、その男が殺された――容疑者は女性を愛した普通の人々。彼らの“沈黙”に、天才物理学者・湯川が挑む！



「ある男」 平野啓一郎

里枝には、2歳の次男を脳腫瘍で失って、夫と別れた過去があった。長男を引き取り14年ぶりに故郷に戻ったあと、「大祐」と再婚するが、「大祐」は事故で命を落とす。さらに衝撃の事実が…。人はなぜ人を愛するのか。幼少期に深い傷を背負って、人は愛にたどりつけるのか。「大祐」の人生を探るうちに、過去を変えて生きる男たちの姿が浮かびあがる。人間存在の根源と、この世界の真実に触れる文学作品。第70回読売文学賞受賞作。



「流浪の月」 凧良ゆう

せつかくの善意をわたしは捨てていく。そんなものでは、わたしはかけらも救われない。愛ではない。けれどそばにいたい。新しい人間関係への旅立ちを描き、実力派作家が遺憾なく本領を発揮した、息をのむ傑作小説。2020年本屋大賞受賞 第41回(2020年)吉川英治文学新人賞候補作



「アキラとあきら」 池井戸潤

零細工場の息子・山崎瑛と大手海運会社東海郵船の御曹司・階堂彬。生まれも育ちも違うふたりは、互いに宿命を背負い、自らの運命に抗って生きてきた。やがてふたりが出会い、それぞれの人生が交差したとき、かつてない過酷な試練が降りかかる。逆境に立ち向かうふたりのアキラの、人生を賭した戦いが始まった一。感動の青春巨篇。



「とんび」 重松清

昭和三十七年、ヤスさんは生涯最高の喜びに包まれていた。愛妻の美佐子さんとのおいだに待望の長男アキラが誕生し、家族三人の幸せを噛みしめる日々。しかしその団らんは、突然の悲劇によって奪われてしまう。アキラへの愛あまって、時に暴走し時に途方に暮れるヤスさん。我が子の幸せだけをひたむきに願ひ続けた不器用な父親の姿を通して、いつの世も変わることのない不滅の情を描く。魂ふるえる、父と息子の物語。

